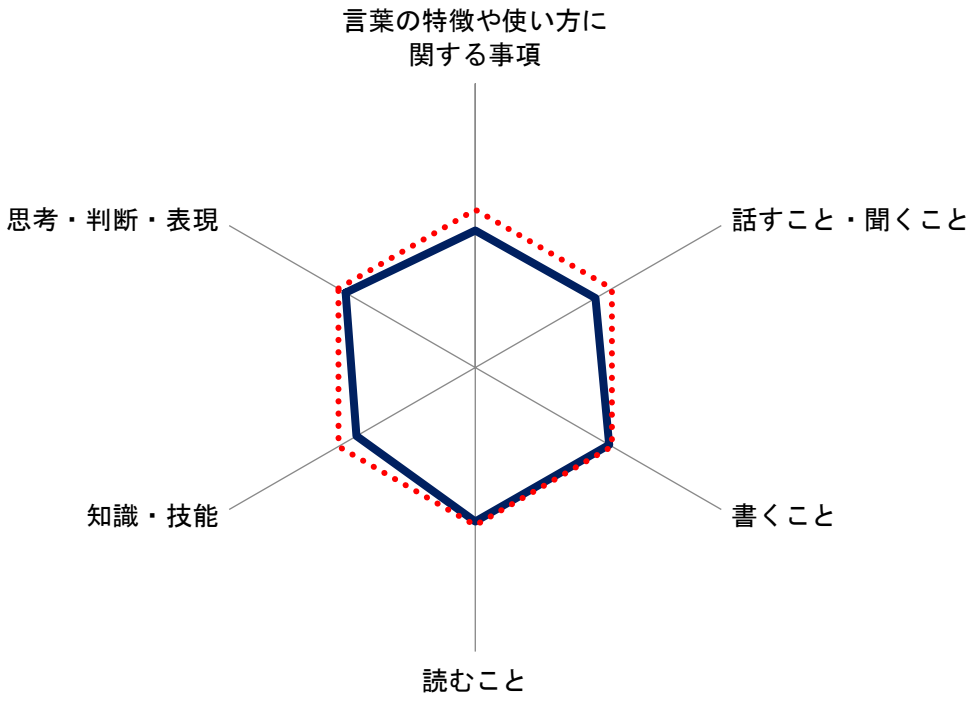


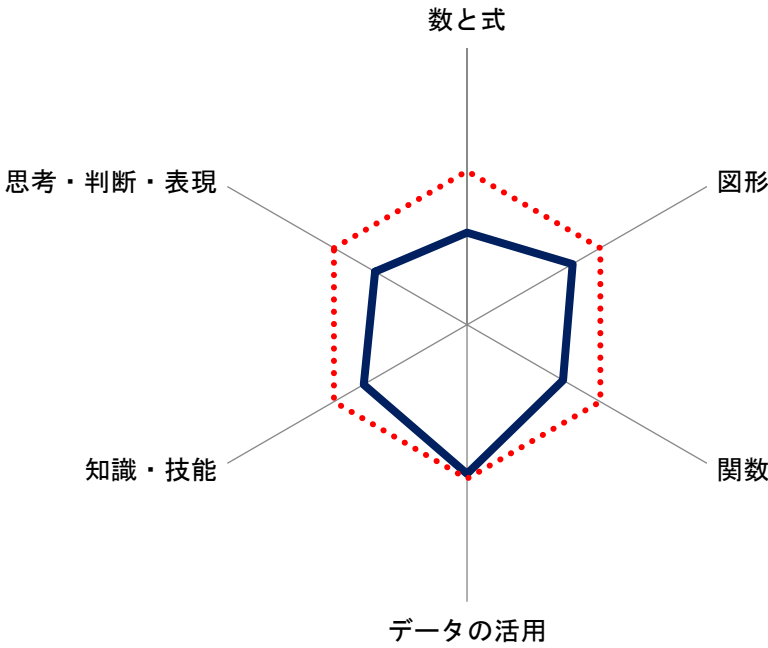
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 市平均
..... 全国平均



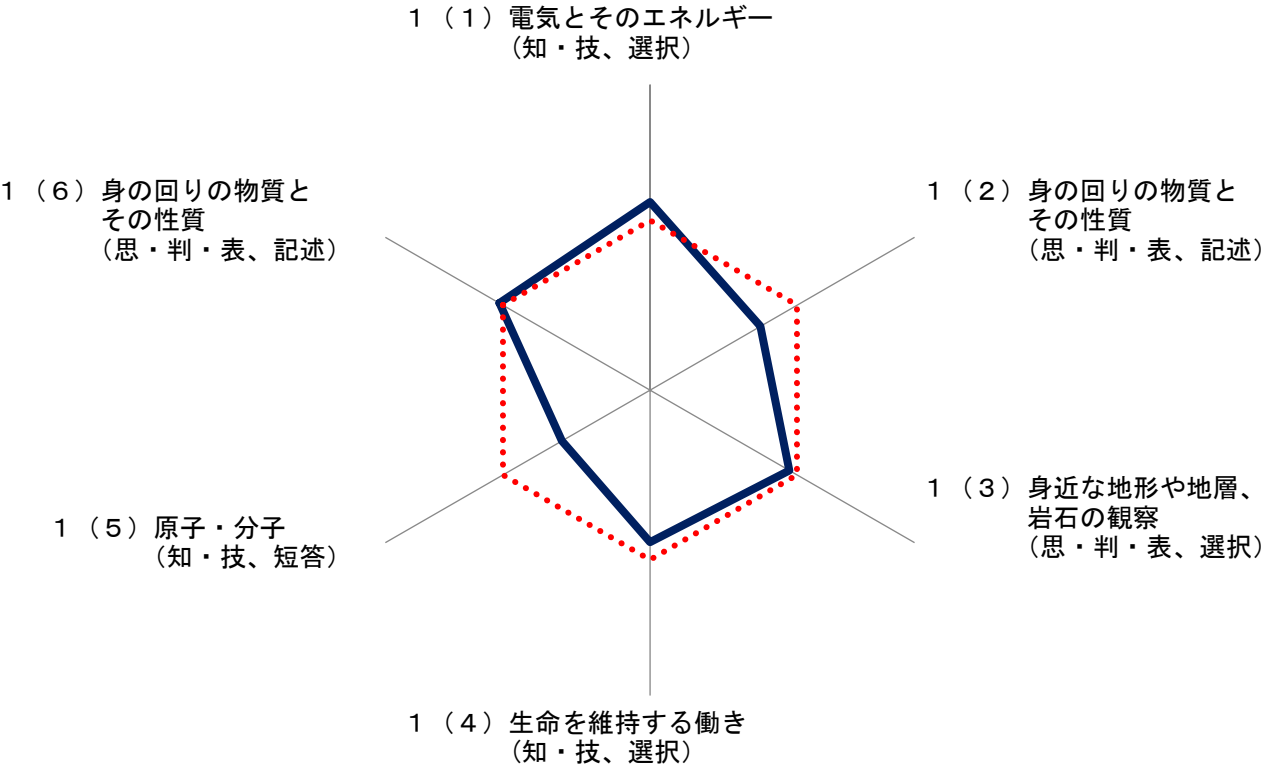
【数学】



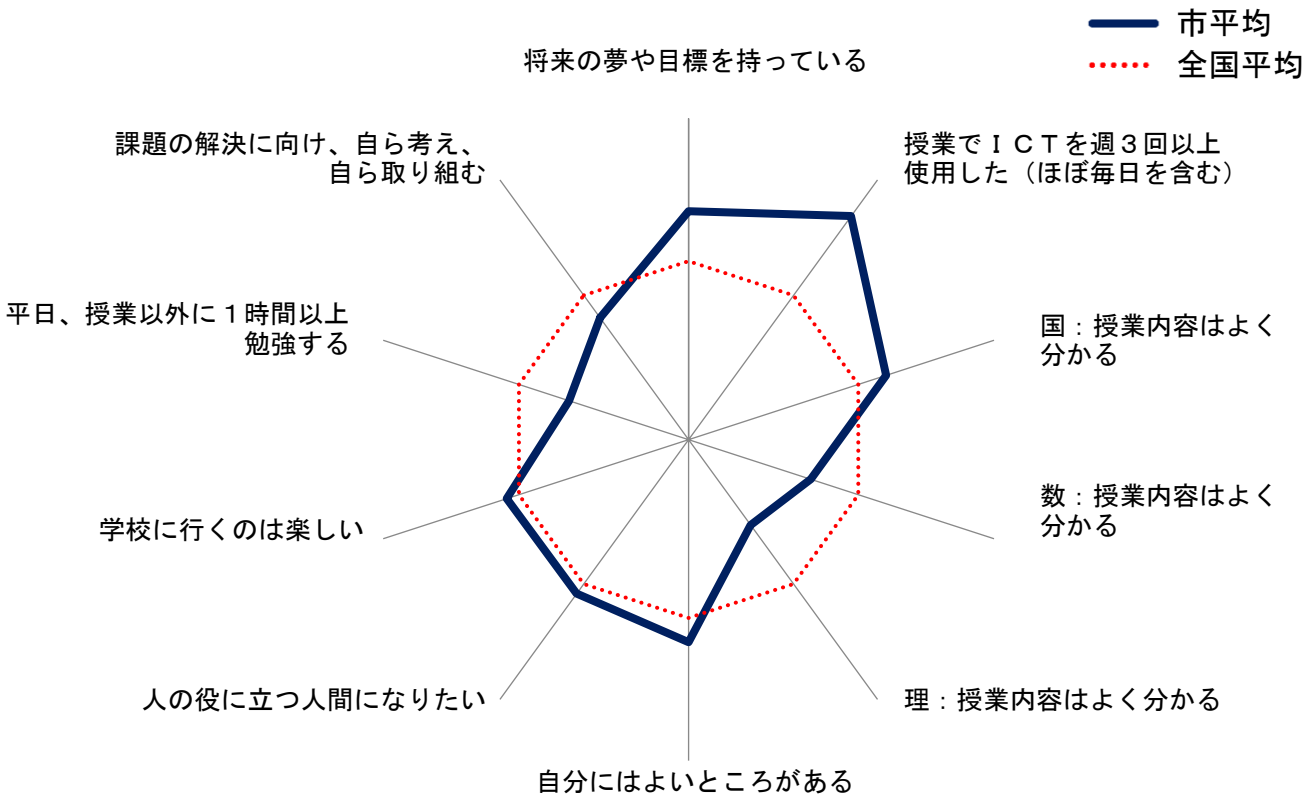
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)
【理科】

※全ての生徒が解答した共通公開問題(6問)について、問題ごとに
全国の平均正答率と県や市町の平均正答率との差を比較したもの

— 市平均
..... 全国平均



○ 生徒質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「書くこと」「読むこと」、数学の「データの活用」の項目が全国平均とほぼ同じであるものの、その他の項目は全国平均を下回っている。特に、数学の「数と式」の項目は大きく下回っており、昨年度から引き続き課題となっている。理科は公開問題1(2)の見いだした問題から課題が設定できるかを問う問題や、(5)の基礎的・基本的な理解を問う問題が全国平均を大きく下回っており、課題である。今後は、生徒一人一人の結果を詳細に分析するとともに、知識及び技能の確実な定着と、それを基盤とした思考力、判断力、表現力等の向上を相互に関連付け、学びの質を高める取組を推進していくことが望まれる。

生徒質問調査では、「将来の夢や目標を持っている」「授業でICTを週3回以上使用した」の項目が全国平均を大きく上回っている。一方、「平日、授業以外に1時間以上勉強する」、数学と理科の「授業内容はよく分かる」の項目が全国平均を大きく下回っており、課題が見られる。今後も、「おおよその授業スタンダード」を基に、生徒にとって「分かる、できる」を実感できる授業改善をより一層推進していくとともに、家庭学習の促進に向けた具体的な手立ての立案・実施を行うことも望まれる。